

ベーシックマスター 現代文

表現〈入門〉編

第六回 読点の打ち方 例題

- A 述語までの距離が遠い主語で、読点を打つ。
- B 長い節の直後で、読点を打つ。
- C 対比や並列の節の間に、読点を打つ。
- D 修飾語が直後を修飾しない場合、読点を打つ。

E 強調したい接続詞や強調したいことばの直後で、読点を打つ。

F 助詞の省略の位置で、読点を打つ。

G 黙読をするうえで「拍空けるといいところで、読点を打つ。